

大阪府社会福祉協議会の取材を受ける

大阪府シルバーアドバイザー藤井寺 大川

大阪府社会福祉協議会の広報誌「ふくしおおさか」6月号の取材を受けました。当「シルバーアドバイザー藤井寺」の活動を報告し・2025年問題、国策のフレイル対策（健康寿命を10年延ばす）等、課題テーマについて意見交換をしました。



ボランティア OSAKA No.87 連携・協働

今年度は、多様な団体・主体と連携しているボランティアグループを取りあげ、ボランティア活動をさらに発展させていくコツなどを紹介します。

今号では、ボランティア連絡会（以下、ボラ連）と連携している高石市と藤井寺市の取り組みをご紹介します。

地域の役に立ちたい！ SA藤井寺

「シルバーアドバイザー藤井寺」（以下、SA藤井寺）は、大阪府SA養成講座や認定NPO法人大阪府高齢者大学を卒業したメンバーで平成16年に結成したボランティア団体です。子どもから高齢者を対象に、6つの部会に分かれそれぞれ目標（表参照）を掲げ活動しています。

代表の大川正彦さんは定年までボランティア活動の経験はあり

ませんでした。友人に誘われ養成講座を受講。卒業後、少しでも地域の役に立ちたいとの思いから、高齢者の自立支援や体力支援などに取り組んでいます。

部会の一つである「お手玉サークル遊」は、毎月約8カ所の社会福祉施設を訪問し、お手玉を使ったレクリエーションで利用者と交流しています。メンバーは、「お手玉作りなど、普段の準備は大変ですが、参加者から『また来てね、待ってるよ』と声をかけられ、活動の励みになっています。普段はあまり動けない方が積極的にお手玉をして、驚かされます」とやりがいや魅力を話しました。



SA藤井寺のみなさん。前列中央が代表の大川正彦さん

お手玉と音楽がコラボ SA藤井寺は、藤井寺市ボラ連に設立当初から所属し、ボランティアセンターや社協のイベントにも積極的に協力しています。例

SA藤井寺で活動する6つの部会

目標	ボランティア活動内容
1 子どもの健全育成	手作りおもちゃ・お手玉づくり/遊び
2 世代間交流	折り紙・お手玉づくり/遊び
3 高齢者の自立支援	歌体操&お手玉・太極拳教室
4 高齢者のIT支援	パソコン教室
5 高齢者の体力支援	介護施設での体操/お手玉
6 国際交流	中国語学交流・文化交流

ボラ連と連携することで、活動の幅が広がり活性化につながっていました。地域さまざまな課題に対しても多様な団体がつながり協働することで、課題解決のヒントが得られるかもしれません。

大川さんは「団体を超えてつながり、お互いに気にかけてあう関係ができています。今後、高齢化が進むにつれボランティアがもっと必要になる。他の団体とお互いに協力しあい活動を広げていきたい」と抱負を語りました。